
**2016年3月期
第3四半期決算 及び 通期業績見通し
説明資料**

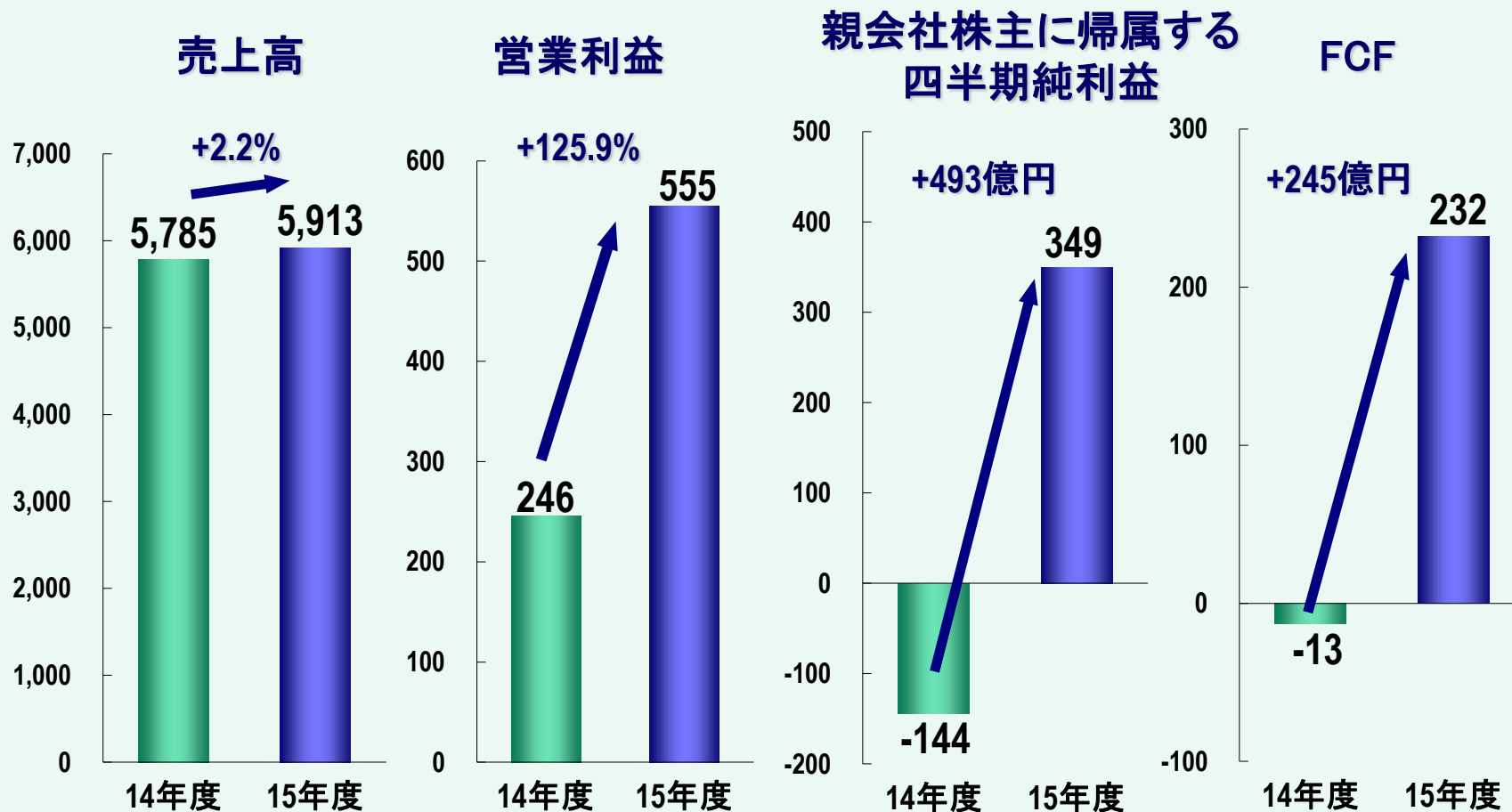
帝人株式会社
2016年2月1日

第3四半期決算概況

(1) 2016年3月期 第3四半期決算概況

(億円)

年度累計(前年同期比)



◆ 経営成績

(億円)

	14年度 3Q累計	15年度 3Q累計	差異
売上高	5,785	5,913	+128
営業利益	246	555	+309
< 営業利益率 >	4.2%	9.4%	+5.1%
営業外損益	44	13	-31
経常利益	290	568	+278
特別損益	-461	-106	+355
税金等調整前 四半期純利益	-172	462	+634
法人税等	-4	132	+136
非支配株主に帰属する 四半期純利益	-23	-20	+4
親会社株主に帰属する 四半期純利益	-144	349	+493
EPS(円)	-14.68	35.53	+50.21

EBITDA *1	571	844	+273
設備投資 *2	200	241	+41
減価償却費	325	289	-36
研究開発費	230	239	+10
FCF	-13	232	+245

➤ 売上高 増収

- ・ヘルスケア・製品事業等を中心として増収

➤ 営業利益・経常利益 大幅増益

- ・原燃料価格の低下、構造改革効果により、素材事業の収益率改善
- ・主力製品・サービスの好調により、ヘルスケア事業も堅調に推移

➤ 四半期純利益 大幅増益

- ・経常利益増益に加え、特別損失の発生大幅減

◇ PL換算レート

	14年度 3Q累計	15年度 3Q累計
円／米ドル	107	122
円／ユーロ	140	134
米ドル／ユーロ	1.31	1.10

*1: EBITDA (営業利益+減価償却費)にて算出 *2: 設備投資には無形固定資産を含む

◆ 営業外損益

(億円)	14年度 3Q累計	15年度 3Q累計	差異 金額
受取利息	5	5	+0
受取配当金	13	15	+3
持分法による投資利益	25	26	+0
為替差益	8	0	-8
デリバティブ評価益	28	0	-27
雑収入	7	12	+5
営業外収益 計	85	58	-27
支払利息	22	19	-4
為替差損	—	4	+4
雑損失	19	21	+3
営業外費用 計	41	44	+3
営業外損益 計	44	13	-31

◆ 特別損益

(億円)	14年度 3Q累計	15年度 3Q累計	差異 金額
固定資産売却益	1	1	+1
投資有価証券売却益	1	1	+0
減損損失戻入益	1	18	+17
その他	0	1	+1
特別利益 計	2	21	+19
固定資産除売却損	5	15	+10
減損損失	316	56	-259
事業構造改善費用	139	42	-97
その他	4	14	+10
特別損失 計	464	127	-336
特別損益 計	-461	-106	+355

◆ 財政状態

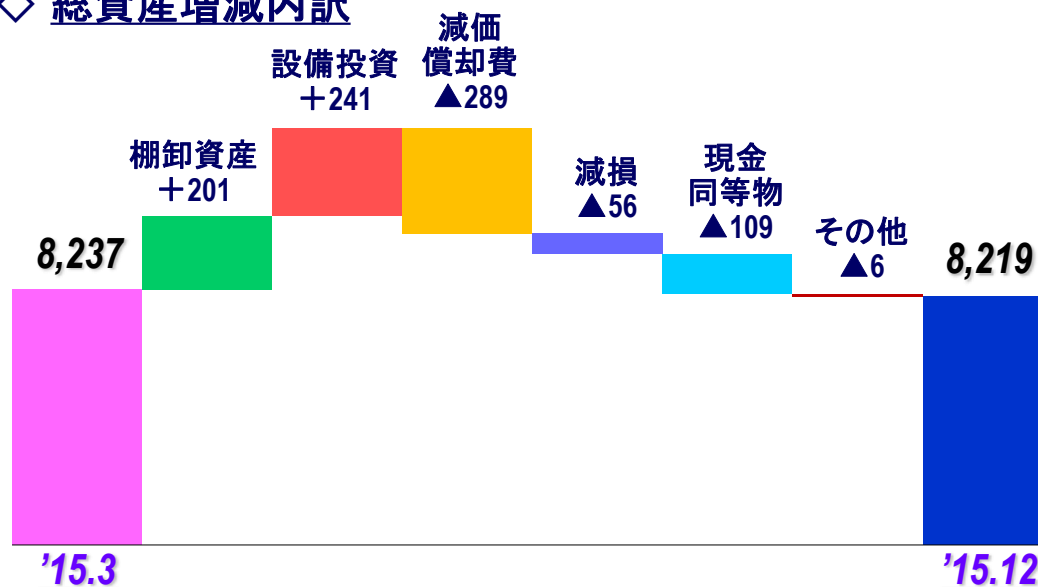
(億円)	15年 3月末	15年 12月末	差異	内 為替 換算影響
総資産	8,237	8,219	-18	-44
自己資本	2,871	3,156	+285	-22
有利子負債	3,082	2,811	-272	-14
D/Eレシオ	1.07	0.89	-0.18	
自己資本比率	34.9%	38.4%	+3.5%	

◆ キャッシュ・フローの状況

(億円)	14年度 3Q累計	15年度 3Q累計	差異
営業活動	438	510	+71
投資活動	-451	-278	+174
FCF	-13	232	+245
財務活動他	184	-341	-524
現金及び 現金同等物 増減	171	-109	279

* キャッシュ・フローについては金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外

◇ 総資産増減内訳

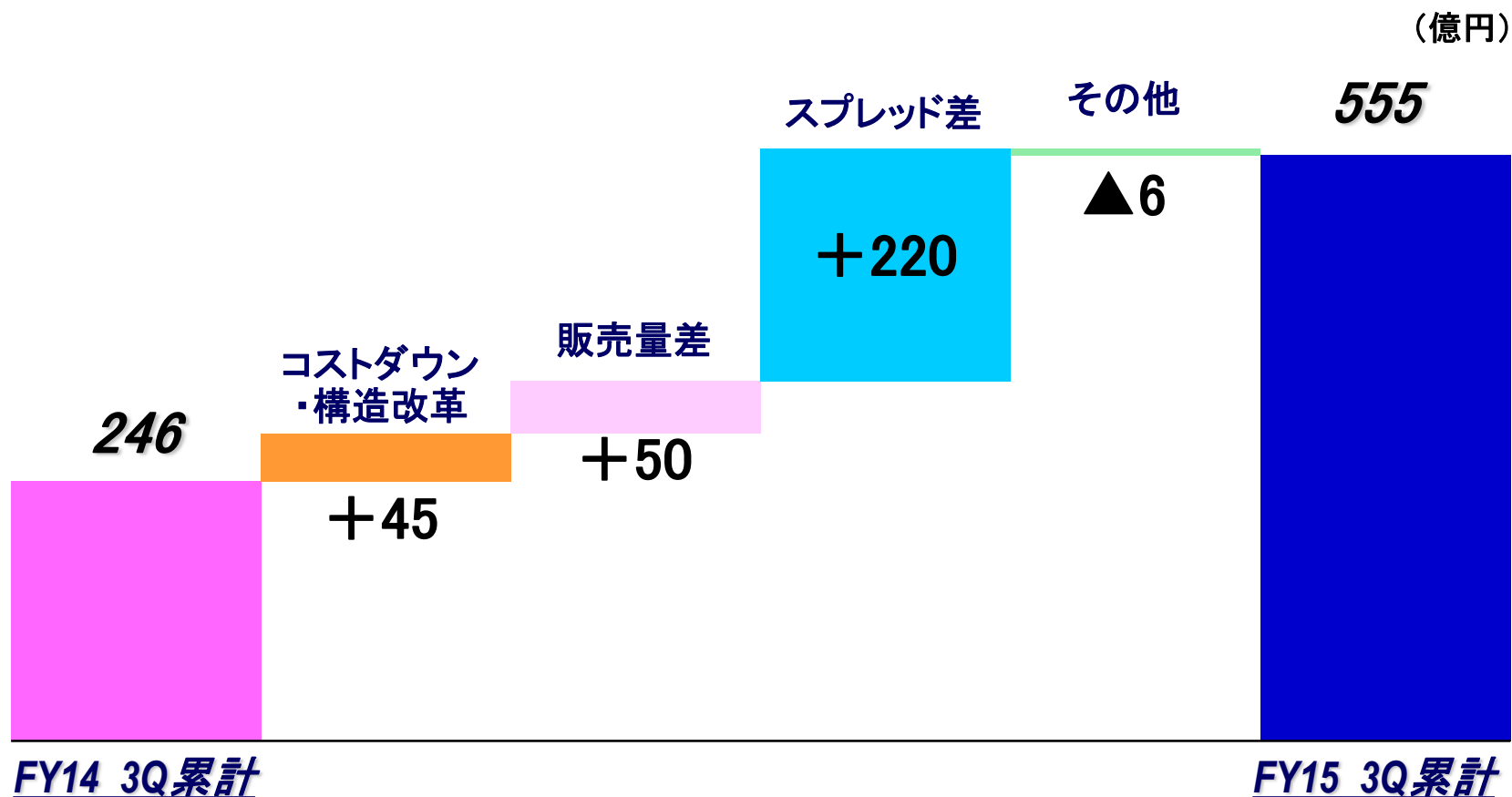


◇ BS換算レート

	15年 3月末	15年 12月末
円／米ドル	120	121
円／ユーロ	130	132
米ドル／ユーロ	1.08	1.09

◆ 営業利益増減内訳

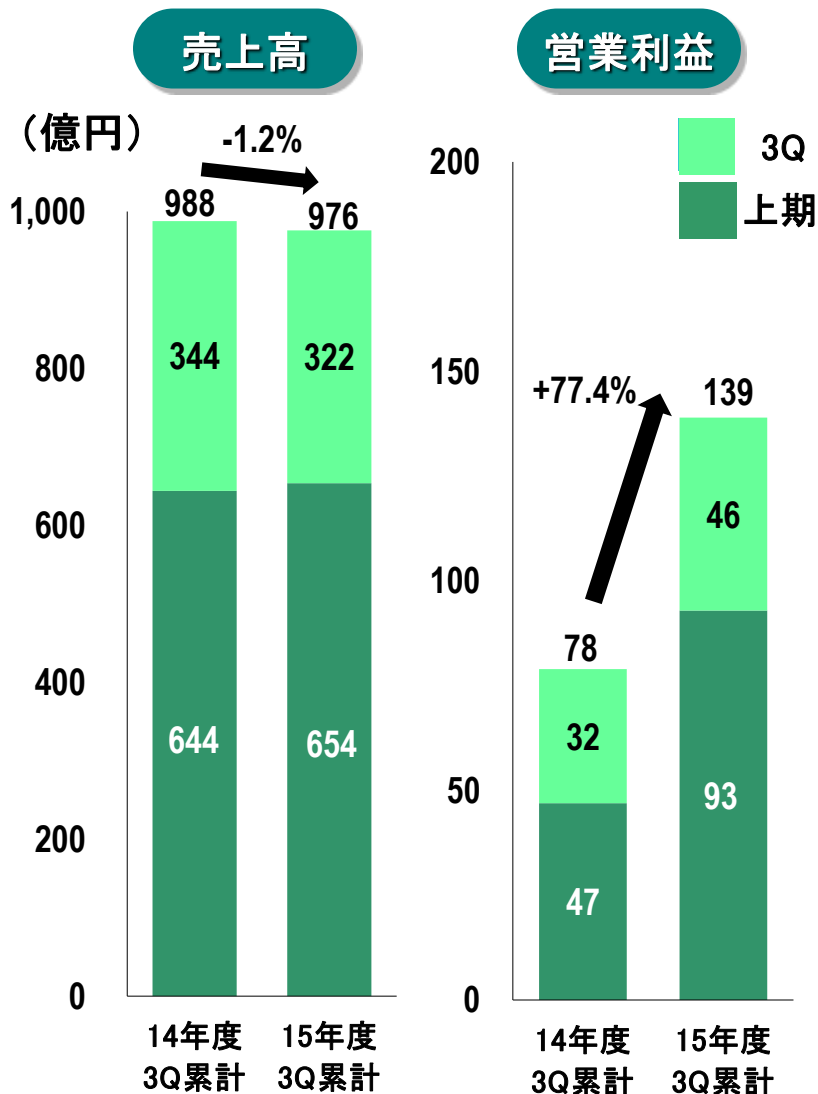
ヘルスケア事業を中心とした増販効果と、素材事業における原燃料
価格ダウンが大幅増益に寄与



(2) セグメント別 売上高・営業利益比較(対 前年同期)

(億円)	売上高				営業利益			
	14年度 3Q累計	15年度 3Q累計	差異	増減率	14年度 3Q累計	15年度 3Q累計	差異	増減率
高機能繊維・複合材料	988	976	-12	-1.2%	78	139	+61	+77.4%
電子材料・化成品	1,389	1,294	-96	-6.9%	-2	189	+192	—
ヘルスケア	1,059	1,125	+66	+6.2%	213	254	+42	+19.5%
製品	1,905	2,003	+97	+5.1%	32	40	+8	+26.1%
計	5,341	5,397	+56	+1.1%	321	623	+302	+94.2%
その他	443	516	+72	+16.3%	14	33	+19	+135.7%
消去又は全社	—	—	—	—	-89	-101	-12	—
合計	5,785	5,913	+128	+2.2%	246	555	+309	+125.9%

①高機能繊維・複合材料事業：売上高横ばい／利益大幅増



(億円)	14年度 3Q累計	15年度 3Q累計	差異	増減率
売上高	988	976	-12	-1.2%
営業利益	78	139	+61	+77.4%

◆ 事業概況

◇ 高機能繊維：

パラアラミド繊維：

- ・自動車(タイヤ)用途向け順調に拡大
- ・防弾用途は一部回復傾向
- ・ユニフォームや光ファイバー用途は低調

メタアラミド繊維：

- ・フィルター用途は激しい競争環境が継続

ポリエステル繊維：

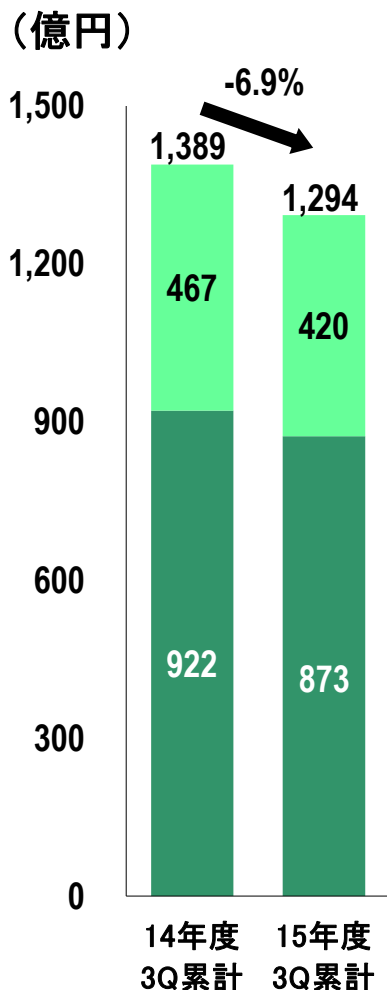
- ・自動車用途は国内外とも軟調
- ・資材用途やRO膜支持体用途の拡販注力

◇ 炭素繊維・複合材料：

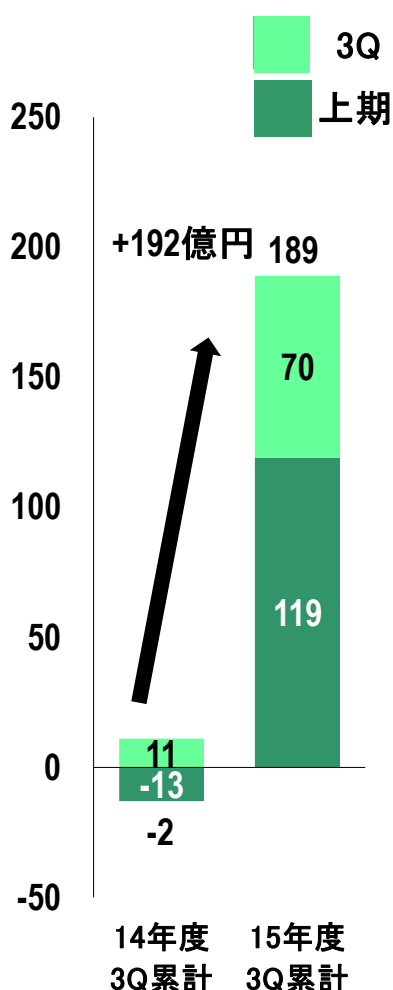
- ・航空機用途は順調に推移
- ・一般産業用途の販売は堅調
- ・スポーツ・レジャー用途は需給バランス軟化

②電子材料・化成品事業：減収／大幅増益・黒字転換

売上高



営業利益



(億円)	14年度 3Q累計	15年度 3Q累計	差異	増減率
売上高	1,389	1,294	-96	-6.9%
営業利益	-2	189	+192	—

◆ 事業概況

◇ 樹脂:

PC樹脂:

- ・ 主原料価格の低下、販売構成改善、構造改革効果の発現により利益大幅改善
- ・ シンガポール工場を予定通り停止(12月)
- ・ 高付加価値品の開発・販売を強化

樹脂加工品・特殊PC:

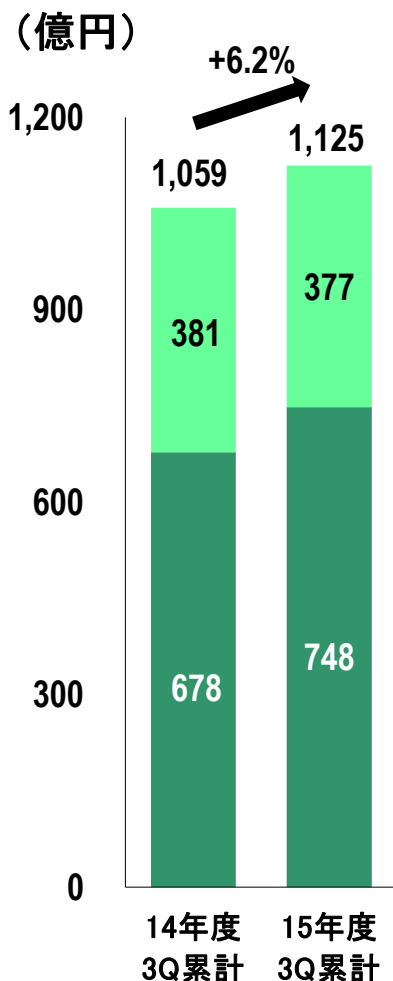
- ・ 位相差フィルム、逆波長分散フィルム堅調維持
タッチパネル向け透明導電性フィルム好調
- ・ PPS樹脂の商業生産立ち上げに注力

◇ フィルム:

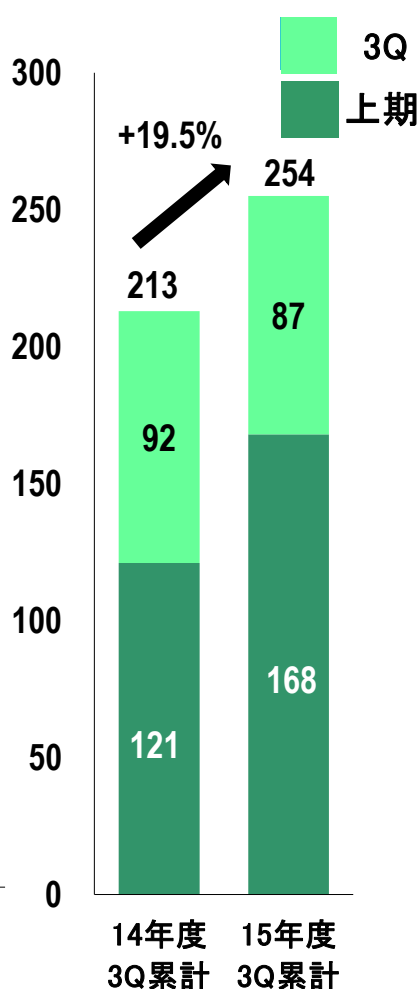
- ・ 液晶TV向け反射板は厳しい競合環境が継続
- ・ 特殊包装用途需要は低調推移
- ・ 工程用離型フィルム堅調

③ヘルスケア事業：増収／増益

売上高



営業利益



(億円)	14年度 3Q累計	15年度 3Q累計	差異	増減率
売上高	1,059	1,125	+66	+6.2%
営業利益	213	254	+42	+19.5%

◆ 事業概況

◇ 医薬品:

- 高尿酸血症・痛風治療剤「フェブキソスタット」、先端巨大症治療剤「ソマチュリン*1」等の新薬群が順調に拡大
- 長期収載品は厳しい事業環境続くも、骨粗鬆症治療剤「ボナロン*2」、去痰剤「ムコソルバン」の剤形追加品拡大に注力

◇ 在宅医療:

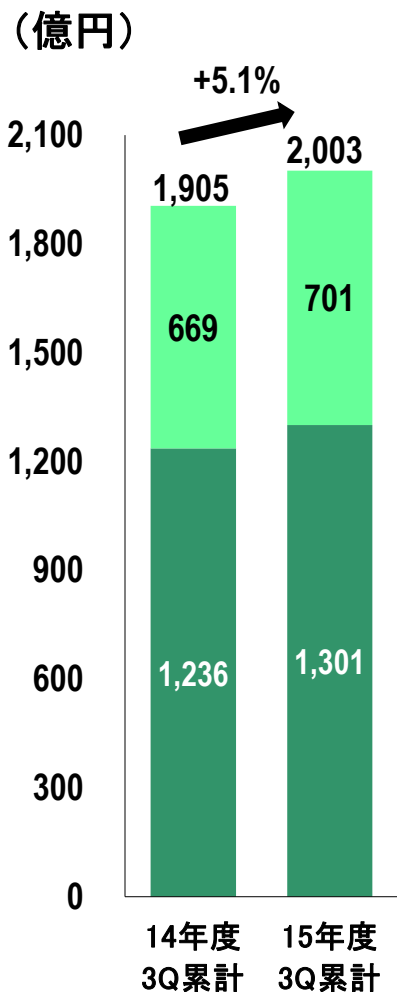
- HOT: レンタル台数を維持
- CPAP: レンタル台数は着実に伸長
- 米国では厳しい事業環境が継続
営業所の統廃合・人員削減等の改善策を推進

*1 ソマチュリン®/Somatuline®は、Ipsen Pharmaの登録商標です。

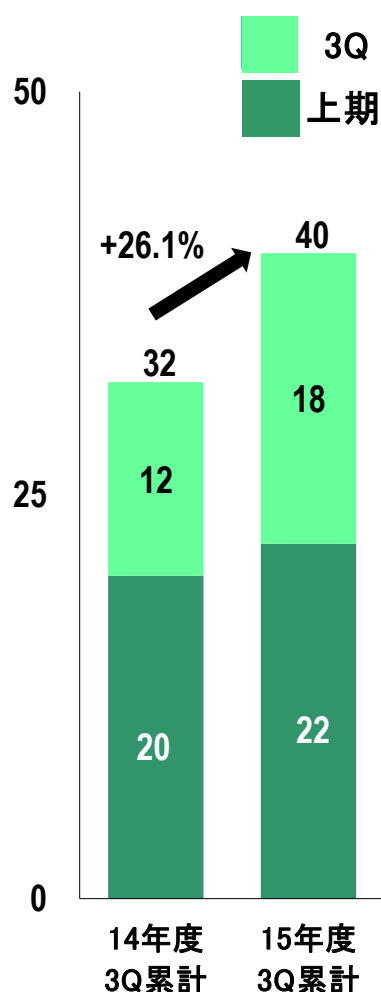
*2 ボナロン®/Bonalon®はMerck Sharp & Dohme Corp.の登録商標です。

④製品事業：増収／増益

売上高



営業利益



(億円)	14年度 3Q累計	15年度 3Q累計	差異	増減率
売上高	1,905	2,003	+97	+5.1%
営業利益	32	40	+8	+26.1%

◆事業概況

衣料繊維:

- ・ スポーツ・アウトドア用途や、インテリア量販店製品向け原系の販売が拡大し全体を牽引
- ・ OEM事業は、アセアン地域(ベトナム・ミャンマー)での生産・品質管理体制強化
- ・ ミャンマー・中国で縫製工場稼働、グローバルサプライチェーン拡充へ

産業資材:

- ・ タイヤ補強材・ゴム資材等は堅調に推移
- ・ 国内の土木資材関連も一部復調の兆し
- ・ メディカル・介護分野で総合的な取り組み強化

主要アクション①(2015年10月以降)

ー重点戦略事業の拡大／商品ラインナップ強化ー

■ 高機能繊維・複合材料事業

・ 鉄道台車用途 CFRP製バネ 供給開始

川崎重工業(株)が開発した新世代台車「eFWING」に搭載
従来に比べて台車重量を1車両あたり約900kg軽量化



・ 難燃・高強度・高剛性の熱可塑性織物プリプレグ開発

熱硬化性CFRPと同等の物性をプレス成形で実現



・ 耐炎繊維「パイロメックス」新たな供給契約締結

UTCエアロスペースシステムズ社との契約締結
航空機用ブレーキ材向けに、2030年まで契約期間を延長
北米工場の生産能力を40%増強へ



■ ヘルスケア事業

・ 経皮吸収型鎮痛消炎剤「ロコアテープ」販売開始

強力な鎮痛消炎作用ー変形性関節症治療への新しい選択肢を提供
大正富山医薬品(株)とともに共同販売を展開 (製造販売元：大正製薬(株))
骨・関節領域におけるラインナップ拡大



主要アクション②(2015年10月以降)

－ソリューション展開－

■ 製品事業

・化粧品ウェア「ラフィナン」開発・展開

肌荒れを防ぎ、皮膚に潤いを与える“身に纏う化粧品”

リンゴ酸を配合、肌を弱酸性に整える作用

スポーツアイテムの他、アパレルメーカー等へも拡大展開

・ファミリーマートとの業務提携

帝人グループの高機能素材を活かしたヘルスケア商品を共同で開発
全国のファミリーマートで展開

展開商品第1弾：高性能マスク「ナノファイバーマスク」



－生産性向上・コスト低減－

■ 高機能繊維・複合材料事業

・炭素繊維の革新的炭素化工程と表面処理技術を開発

新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO) プロジェクト参画

＞マイクロ波による炭素化技術

＞プラズマによる表面処理技術

⇒製造エネルギーと二酸化炭素排出量を半減させ、生産性を飛躍的に向上させる
革新的な炭素繊維製造プロセスの確立へ

2016年3月期 通期業績見通し

◆ 通期業績見通しの概況

(億円)	14年度実績	15年度見通し	差異		15年度 前回見通し*2	前回見通し との差異 (金額)
			金額	%		
売上高	7,862	7,900	+38	+0.5%	7,900	—
営業利益	391	650	+259	+66.3%	580	+70
<営業利益率>	5.0%	8.2%	+3.3%	—	7.3%	+0.9%
経常利益	424	650	+226	+53.4%	580	+70
親会社株主に帰属する 当期純利益	-81	370	+451	—	340	+30
設備投資 *1	281	400	+119		440	-40
減価償却費	430	400	-30		400	—
研究開発費	324	340	+16		340	—
FCF	264	290	+26		150	+140

*1 設備投資には無形固定資産を含む

*2 前回見通しは2015年11月2日公表

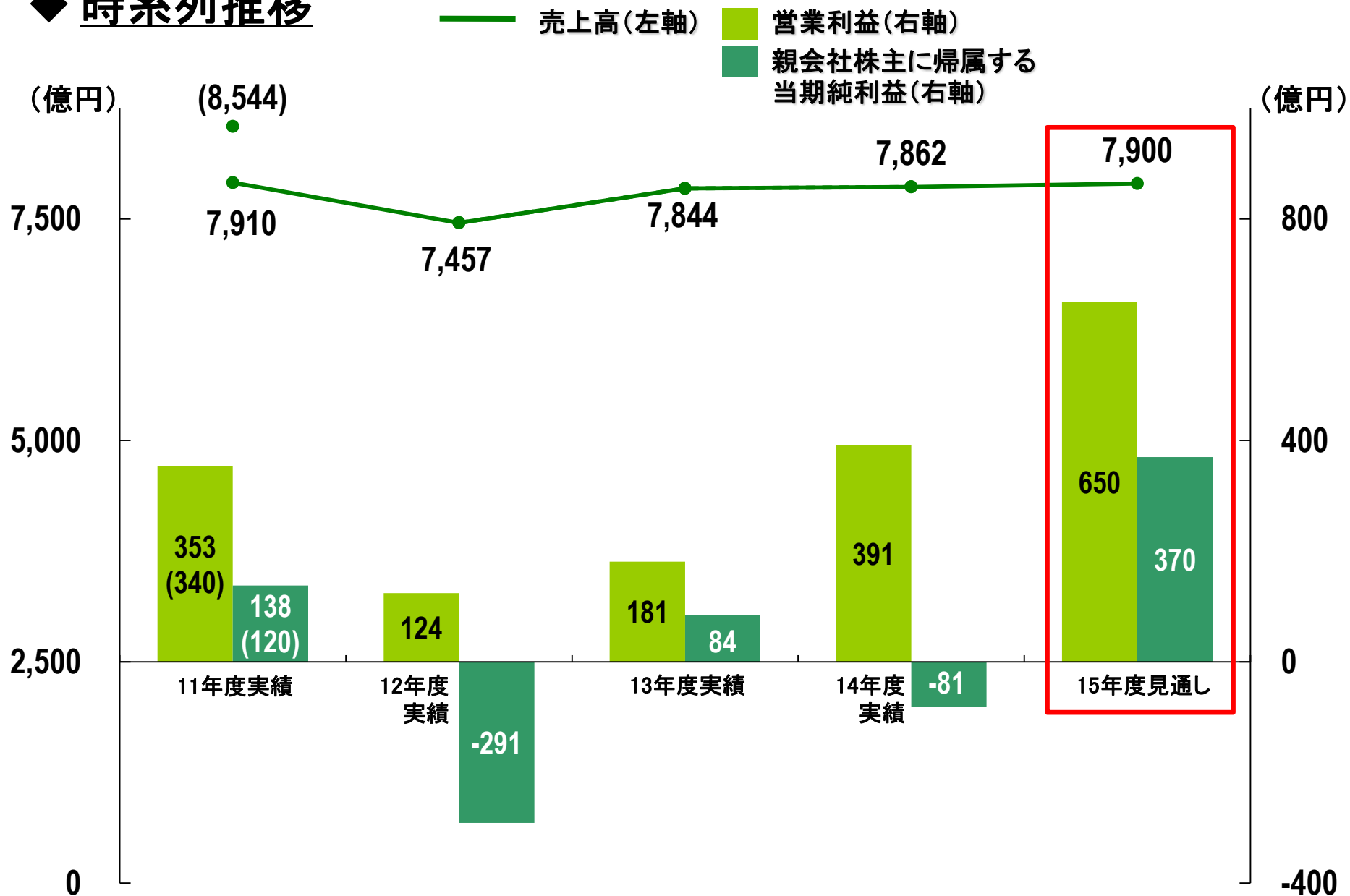
◇ 2015年度見通し前提

通期為替レート：米ドル = 121円、ユーロ = 134円 原油価格(Dubai) = 47米ドル/バレル

◇ 配当予想

期末：4.0円/株（見通し） 年間：7.0円/株（見通し） ※前回見通しから変更なし

◆ 時系列推移



* ()内 一部子会社の決算期統一影響額を含んだ数値

◆ セグメント別 売上高・営業利益推移(前年実績対比)

		14年度実績			15年度見通し			年間 差異
		上期	下期	年間	上期	下期	年間	
		(億円)						
売上高	高機能繊維・複合材料	644	711	1,355	654	746	1,400	+45
	電子材料・化成品	922	926	1,848	873	777	1,650	-198
	ヘルスケア	678	739	1,417	748	702	1,450	+33
	製品	1,236	1,358	2,594	1,301	1,349	2,650	+56
	計	3,480	3,734	7,214	3,577	3,573	7,150	-64
	その他	294	354	648	344	406	750	+102
	合計	3,774	4,088	7,862	3,921	3,979	7,900	+38
営業利益	高機能繊維・複合材料	47	97	144	93	92	185	+41
	電子材料・化成品	-13	47	34	119	86	205	+171
	ヘルスケア	121	127	248	168	122	290	+42
	製品	20	23	42	22	28	50	+8
	計	174	294	468	401	329	730	+262
	その他	5	35	40	19	41	60	+20
	消去又は全社	-58	-60	-117	-67	-73	-140	-23
合計	121	270	391	353	297	650	+259	

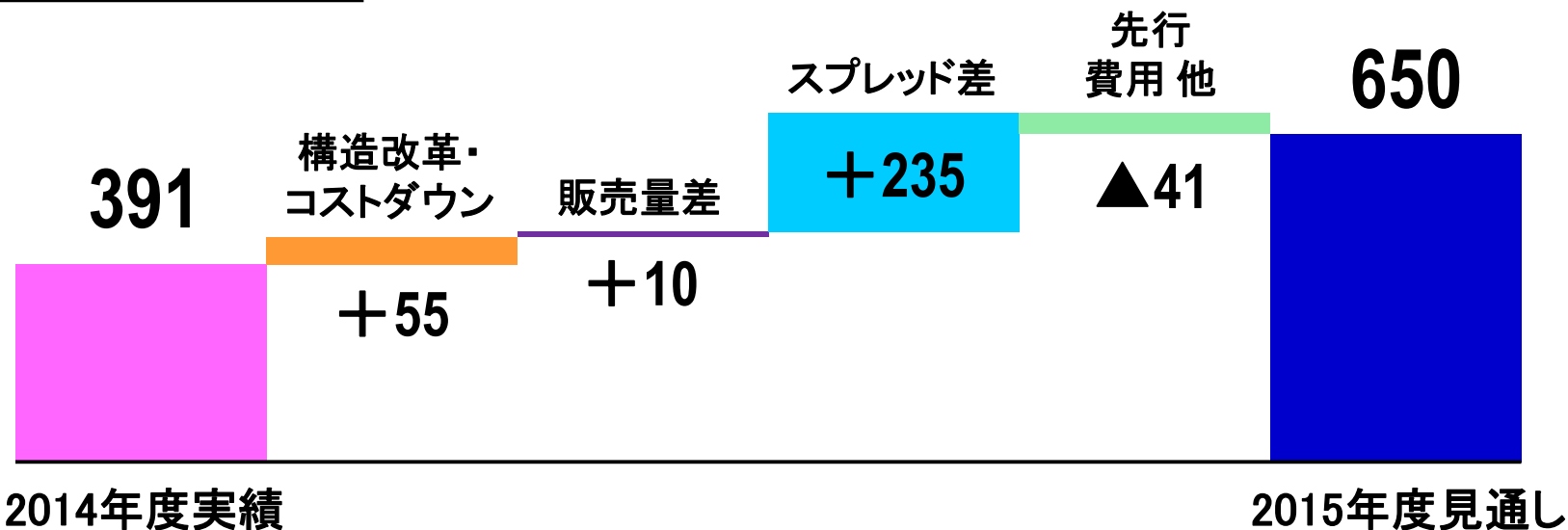
◆ セグメント別 売上高・営業利益推移(前回見通し対比)

* 前回見通しは2015年11月2日公表 (億円)		15年度 前回見通し*			今回見通し			年間 差異
		上期	下期	年間	上期	下期	年間	
売上高	高機能繊維・複合材料	654	746	1,400	654	746	1,400	—
	電子材料・化成品	873	777	1,650	873	777	1,650	—
	ヘルスケア	748	702	1,450	748	702	1,450	—
	製品	1,301	1,349	2,650	1,301	1,349	2,650	—
	計	3,577	3,573	7,150	3,577	3,573	7,150	—
	その他	344	406	750	344	406	750	—
合計		3,921	3,979	7,900	3,921	3,979	7,900	—
営業利益	高機能繊維・複合材料	93	92	185	93	92	185	—
	電子材料・化成品	119	46	165	119	86	205	+40
	ヘルスケア	168	102	270	168	122	290	+20
	製品	22	28	50	22	28	50	—
	計	401	269	670	401	329	730	+60
	その他	19	41	60	19	41	60	—
	消去又は全社	-67	-83	-150	-67	-73	-140	+10
合計		353	227	580	353	297	650	+70

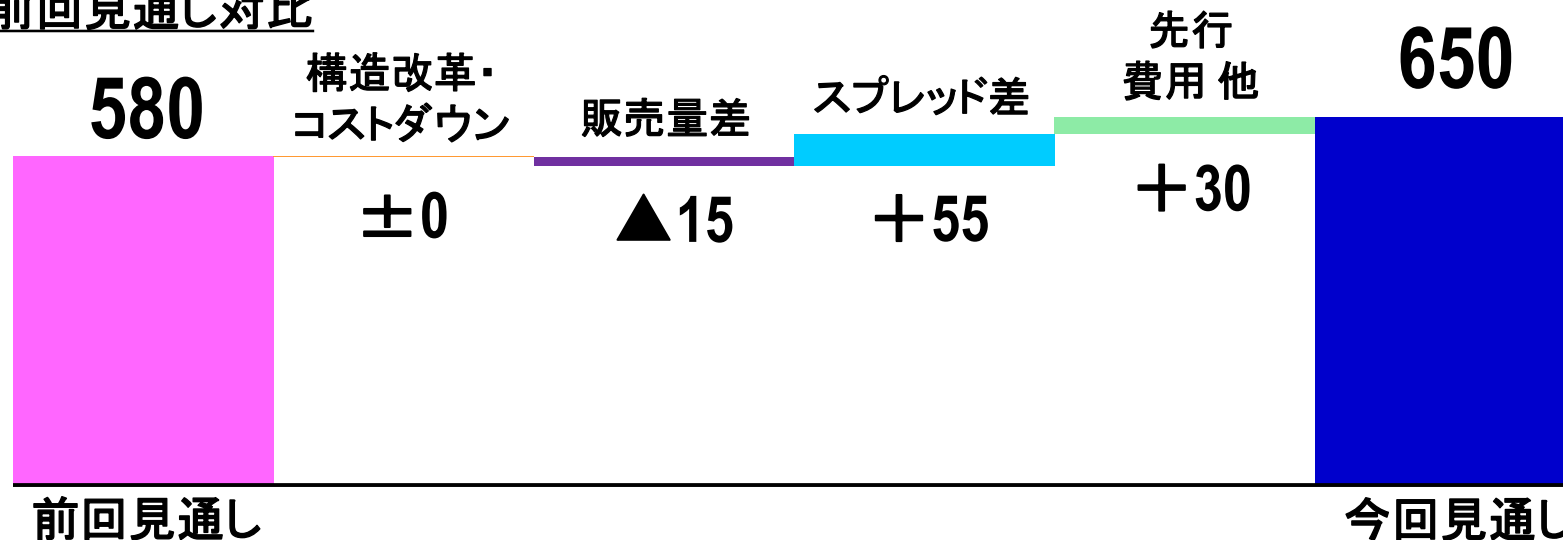
◆ 営業利益増減分析

➤ 2014年度実績対比

(億円)



➤ 前回見通し対比



◆ 主要経営指標

	11年度 実績	12年度 実績	13年度 実績	14年度 実績	15年度 見通し
ROA：営業利益／総資産	4.5%	1.6%	2.4%	4.9%	7.8%
ROE：当期利益／自己資本*1	4.2%	-10.3%	3.0%	-2.8%	12.4%
売上高営業利益率	4.0%	1.7%	2.3%	5.0%	8.2%
D/Eレシオ*2	0.89	1.00	1.00	1.07	1.0
自己資本比率	38.3%	35.6%	36.7%	34.9%	36.5%
1株当たり当期純利益(円)	12.2	-29.6	8.5	-8.2	37.6
1株当たり配当金(円)	6.0	4.0	4.0	4.0	7.0
総資産(億円)	7,621	7,624	7,684	8,237	8,500
有利子負債(億円)	2,610	2,708	2,815	3,082	3,100
EBITDA(億円)*3	863	592	637	821	1,050

*1 「当期純利益÷自己資本」にて算出

*2 「有利子負債÷自己資本」にて算出

*3 「営業利益+減価償却費」にて算出

見直しに関する注意事項と事業等のリスク

見直しに関するご注意

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

事業等のリスク

業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、以下の事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

① 競合・市況変動にかかもの

帝人グループは市況製品を展開しており、景気動向、他社との競合に伴う市場価格の変動、購入原燃料の価格変動、また為替、金利といった相場の変動が事業業績に影響を及ぼす可能性があります。

② 製品の品質にかかもの

事業活動全般において品質保証を確保する体制を敷いていますが、製品・サービスの欠陥が業績、財務状況、社会的評価等に悪影響を及ぼす可能性があります。

③ 研究開発にかかもの

研究開発に対し積極的に経営資源を投入していますが、特に医療用医薬品の開発には、多額の費用と長い期間がかかるうえ、創薬研究において、有用な化合物を発見できる可能性は決して高くありません。また、種々の要因により承認申請を断念しなければならない可能性があります。また、承認申請した後でも承認が取り消されることがあります。

④ 海外活動にかかもの

海外での活動について為替変動に係るリスクのほか、予期しない法律・規制の施行、不利な影響を及ぼす租税制度の変更、経済変動、政変・テロ・戦争等による社会的混乱により、経営成績及び財務状況等に悪影響を及ぼす可能性があります。

⑤ 事故・災害にかかもの

大規模な自然災害や不慮の事故等により生産設備が損害を受けた場合や原材料の供給等サプライチェーンに大きな障害が生じた場合は、帝人グループの経営成績及び財務状況等に悪影響を及ぼす可能性があります。

本資料は、2016年2月1日午前11時30分に公表した弊社決算発表に基づくものです。
本資料に記載された製品名等は登録商標です。

◆ 連結貸借対照表

(億円)	14年 3月末	14年 6月末	14年 9月末	14年 12月末	15年 3月末	15年 6月末	15年 9月末	15年 12月末
資産 合計	7,684	7,838	7,798	8,327	8,237	8,164	8,027	8,219
流動資産	3,649	3,676	3,708	4,131	4,060	3,956	3,956	4,150
固定資産	4,035	4,162	4,090	4,196	4,177	4,208	4,071	4,069
負債・純資産 合計	7,684	7,838	7,798	8,327	8,237	8,164	8,027	8,219
負債	4,683	4,838	4,993	5,391	5,201	4,963	4,838	4,918
(内 有利子負債)	2,815	3,034	3,020	3,173	3,082	2,943	2,836	2,811
純資産	3,001	3,000	2,805	2,936	3,036	3,202	3,190	3,301

* 詳細については決算短信をご覧ください

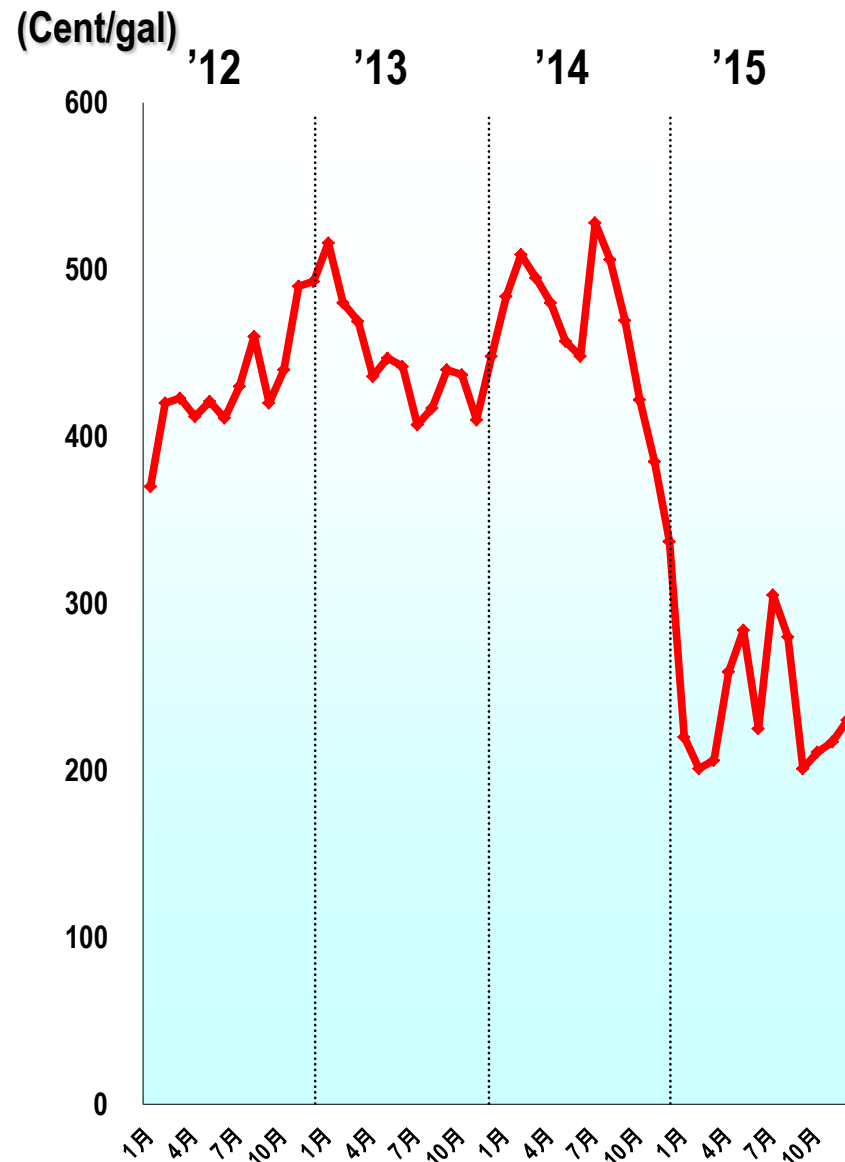
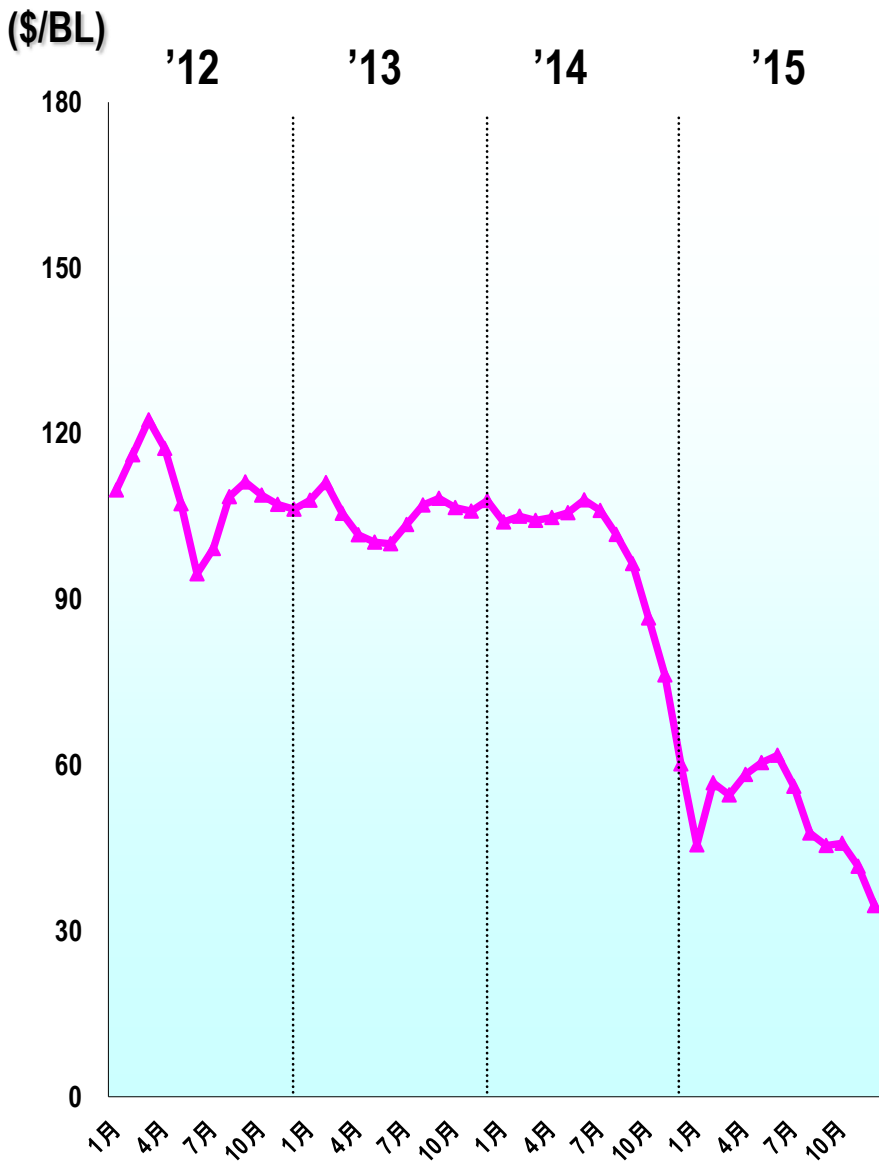
◆ 連結損益計算書

(億円)	14年度				15年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
売上高	1,819	1,955	2,011	2,077	1,926	1,995	1,992
売上原価	1,339	1,452	1,451	1,453	1,308	1,345	1,340
売上総利益	480	503	560	624	617	650	653
販管費	431	430	435	479	453	461	451
営業利益	48	73	124	145	164	189	201
営業外損益	-2	21	25	-11	16	-11	8
（内 金融収支）	1	-5	-2	-6	5	-5	1
（内 持分法投資損益）	4	12	9	-1	9	11	5
経常利益	47	94	149	134	180	179	210
特別損益	-8	-412	-41	-32	-13	-16	-78
税前利益	39	-319	108	102	167	163	132
法人税等	24	-57	29	35	55	35	43
非支配株主に帰属 する四半期純利益	-1	-22	-0	4	0	-4	-16
親会社株主に帰属する 四半期純利益	16	-240	79	63	112	133	105

* 詳細については決算短信をご覧ください

◆ ドバイ原油価格推移

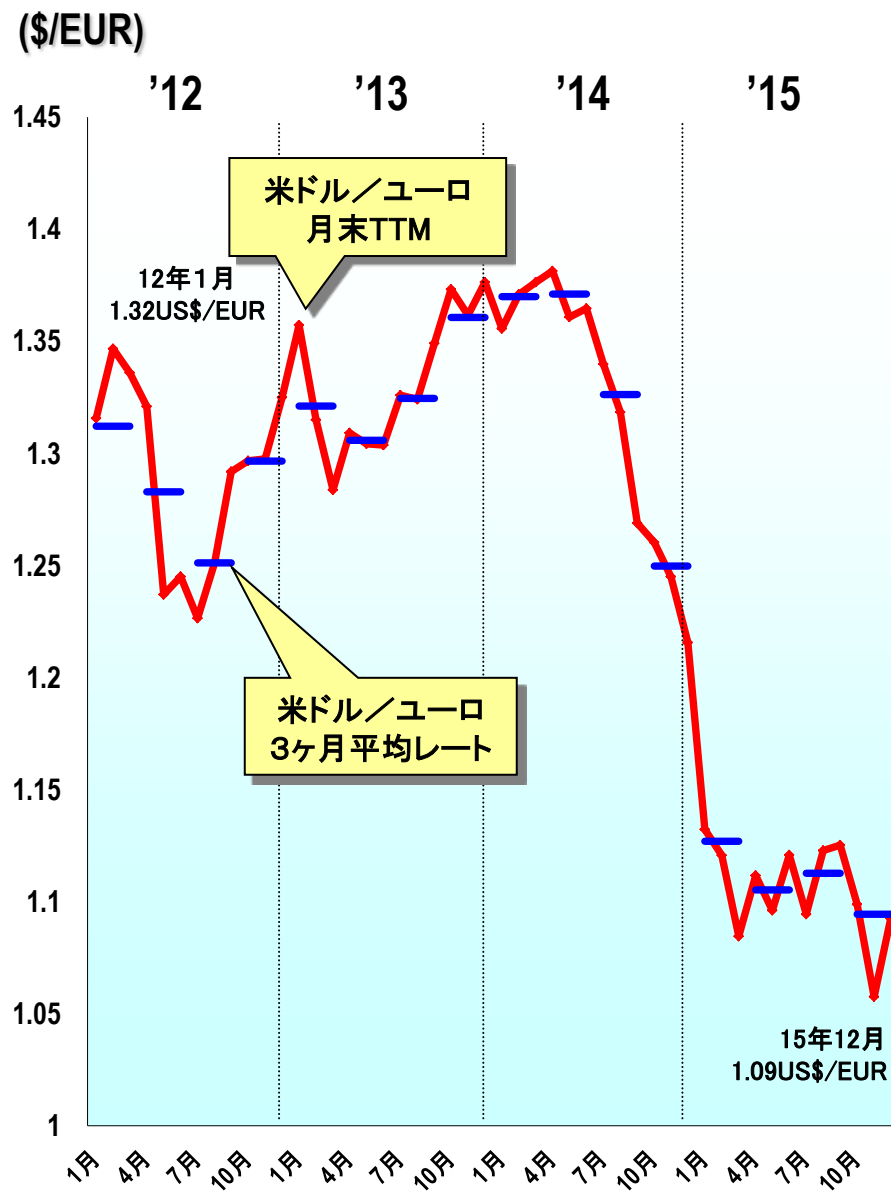
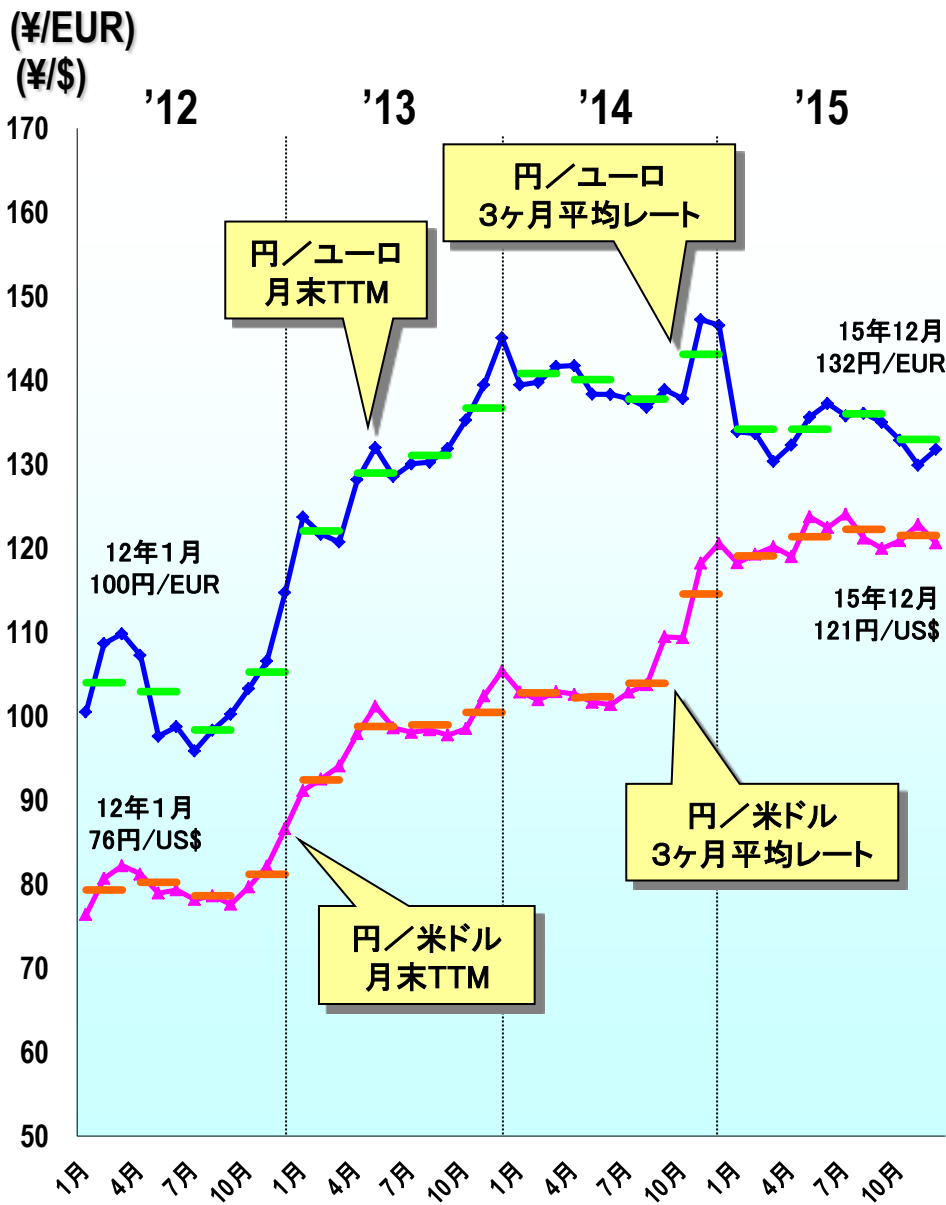
◆ ベンゼン価格推移



【出所:Platt's社のDATAを基に弊社推定】

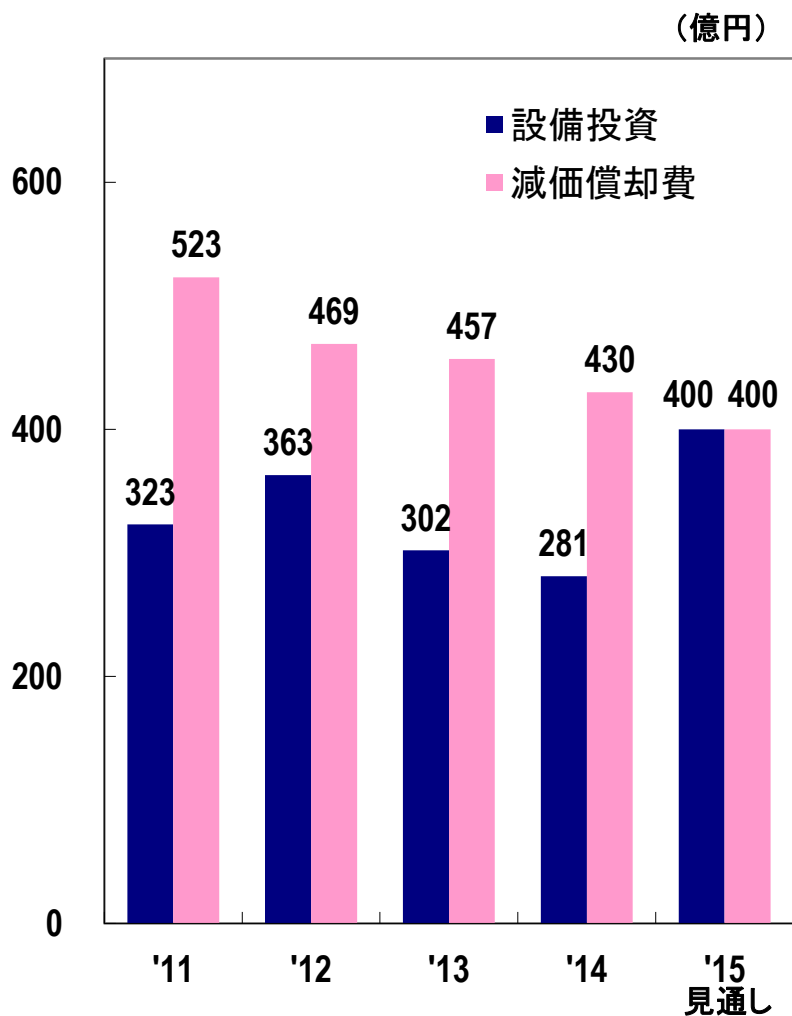
【出所:BZ DewittのDATAを基に弊社推定】

◆ 円／米ドル、円／ユーロ為替レート推移

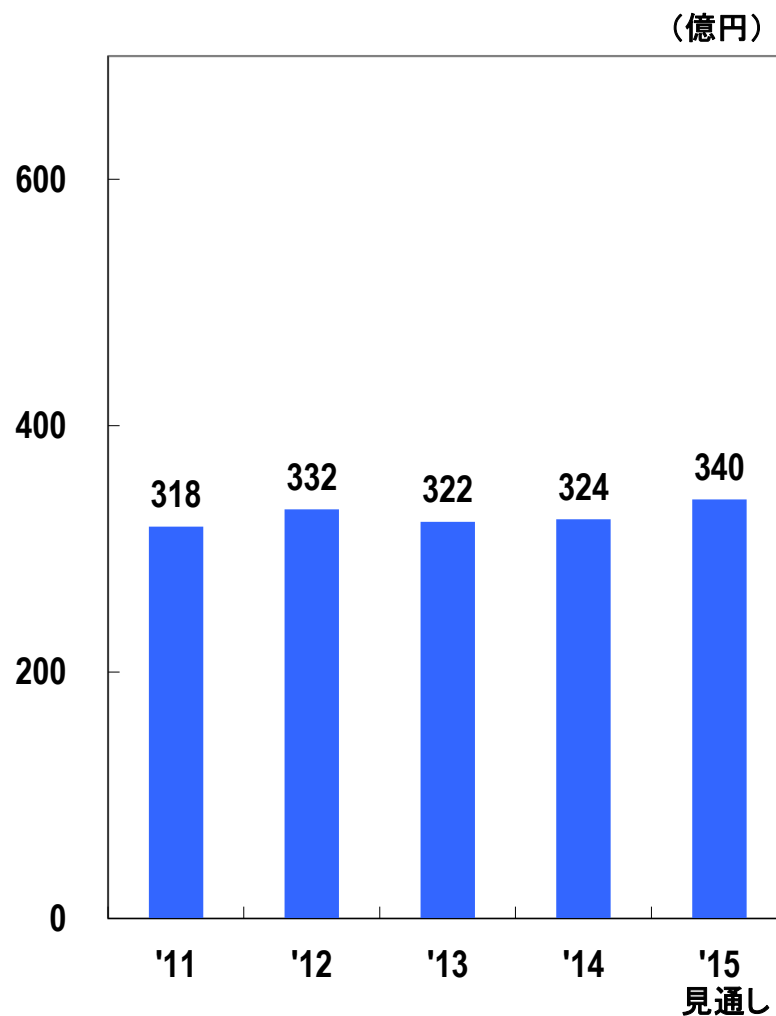


◆ 設備投資・減価償却費・研究開発費推移

設備投資・減価償却費



研究開発費



◆ 主要医薬品売上高実績推移

(億円)

品名	薬効	14年度					15年度		
		1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q
ボナロン®*1	骨粗鬆症治療剤	31	33	36	30	129	33	33	35
ワンアルファ®	骨粗鬆症治療剤	14	14	15	12	54	13	13	13
骨粗鬆症治療剤 計		45	46	50	41	182	46	46	49
フェブリク®	高尿酸血症・痛風治療剤	28	39	47	41	155	48	52	60
ベニロン®	重症感染症治療剤	25	24	28	21	98	25	0	13
ムコソルバン®	去痰剤	16	14	19	15	65	18	14	20
ラキソベロン®	緩下剤	8	7	8	6	29	7	7	7
トライコア®	高脂血症治療剤	4	4	5	4	17	4	4	4
オルベスコ®	喘息治療剤	3	3	4	3	12	3	3	3
ボンアルファ®	角化症治療剤	3	3	3	2	11	3	2	2
ソマチュリン®*2	先端巨大症・ 下垂体性巨人症治療剤	2	3	3	3	11	3	4	4

*1 ボナロン®/Bonalon® はMerck Sharp & Dohme Corp.の登録商標です。

*2 ソマチュリン®/Somatuline® は Ipsen Pharma, Paris, France の登録商標です。

◆ 疾患分野別臨床開発段階 (2015年12月末現在)

* 承認／新規上市は直近1年間を記載

	臨床開発段階				
	Phase I	Phase II	Phase III	申請	承認／ 新規上市
骨・関節 領域		ITM-058 KTP-001			
呼吸器 領域		PTR-36			NA872ET [ムコソルバン]
代謝・ 循環器領 域	TMG-123 TMX-049*1	ITM-014N [ソマチュリン®] (適応追加: 神 経内分泌腫瘍) TMX-67XR [フェブリク]		TMX-67TLS [フェブリク] (適応追加: 腫瘍崩 壊症候群)*2 TMX-67 [フェブキソスタット] (中国)*3	
その他			GGs-ON, -MPA, -CIDP [ベニロン] (適応追加①: 視神経炎<ON>、 (適応追加②: 顕微鏡的多発血管 炎<MPA>) (適応追加③: 慢性炎症性脱髄性 多発根神経炎<CIDP>)		

*1 新規高尿酸血症・痛風治療薬としてTMX-049の臨床開発を2015年4月に着手。

*2 フェブリクの腫瘍崩壊症候群への適応拡大として開発中のTMX-67TLSは2015年7月厚生労働省に承認申請を実施。

*3 中国でアステラス製薬(中国)有限公司と共同開発中の痛風・高尿酸血症治療剤「TMX-67」(一般名: フェブキソスタット)について2015年11月に中国国家食品薬品监督管理局に承認申請を実施。

◆ 新規開発医薬品 (2015年12月末現在)

【承認取得】

開発コード(一般名)	対象疾患	薬効・特徴	剤型	備考
NA872ET (アムブロキシソール塩酸塩)	去痰	既に販売している去痰剤アムブロキシソール塩酸塩(ムコソルバン)の小型徐放錠。 ムコソルバンLカプセルより小さいため、服薬しやすく、分包性に優れることが期待される。	徐放錠	導入:独ベーリンガー ・インゲルハイム社 2015年2月承認取得 2015年7月販売開始

【承認申請】

開発コード(一般名)	対象疾患	薬効・特徴	剤型	備考
TMX-67TLS (フェブキソスタット)	腫瘍崩壊症候群	本剤の強力な尿酸生成抑制作用により、1日1回の投与で、悪性腫瘍に対する化学療法に伴う高尿酸血症の発症を抑制することが期待される。	錠剤	自社開発品 (適応追加) 2015年7月承認申請
TMX-67 (フェブキソスタット)	高尿酸血症・痛風	国内販売しているフェブリク錠を中国に導出する。本剤は、強力な尿酸生成抑制効果に加え、腎機能低下等により既存治療薬を使うことのできなかつた患者へも使用が可能であり、中国における高尿酸血症・痛風治療の新たな選択肢として、高尿酸血症・痛風患者のQOL(Quality of Life)向上に貢献できることが期待される。	錠剤	共同開発:アステラス製薬(中国)有限公司 2015年11月承認申請

【Phase III】

開発コード(一般名)	対象疾患	薬効・特徴	剤型	備考
GGs-ON (乾燥スルホ化人免疫グロブリン)	視神経炎	本剤の免疫調節作用により、視神経の炎症を抑制し、視機能を改善することが期待される。	注射	共同開発:化血研 (適応追加)
GGs-MPA (乾燥スルホ化人免疫グロブリン)	顕微鏡的多発血管炎	本剤の抗炎症作用と免疫調節作用により、自己免疫性血管炎を鎮静化させ、標準治療で残存する神経障害(多発性単神経炎)を改善することが期待される。	注射	共同開発:化血研 (適応追加)
GGs-CIDP (乾燥スルホ化人免疫グロブリン)	慢性炎症性脱髄性多発根神経炎	本剤の免疫調節作用により、末梢神経の炎症を抑制し、低下した筋力を改善することが期待される。	注射	共同開発:化血研 (適応追加)

【Phase II】

開発コード(一般名)	対象疾患	薬効・特徴	剤型	備考
ITM-014N (ランレオチド酢酸塩)	神経内分泌腫瘍	ソマトスタチン受容体を介したアポトーシスの誘導(直接的作用)や細胞栄養因子の分泌制御(間接的作用)を介した作用により、神経内分泌腫瘍の進展抑制や諸症状の改善が期待される。	注射	導入: 仏イプセン社 (適応追加)
ITM-058	骨粗鬆症	強力な骨形成作用により短期間で骨密度増加と骨折抑制効果が期待できる骨粗鬆症治療薬。既存薬に比べ、強い骨密度増加作用と高い安全性(高カルシウム血症のリスク低減)が期待できる。	注射	導入: 仏イプセン社
KTP-001	腰椎椎間板ヘルニア	腰椎椎間板ヘルニアに対する化学的髄核融解療法剤。 生体内でヘルニアの自然退縮に関わる酵素(マトリックスメタロプロテアーゼ)と同じ構造のヒト型タンパク質であることからアレルギー反応のリスクが少なく、選択的に作用するため、椎間板周囲組織の傷害性が低いと期待される。手術に代わる低侵襲性の治療法の選択肢を広げることができる。	注射	発明者: 波呂浩孝氏、 小森博達氏 共同開発: 化血研
TMX-67XR (フェブキソスタット)	高尿酸血症・痛風	既に販売している高尿酸血症・痛風治療剤フェブキソスタット(フェブリク)の徐放剤。	経口	自社開発品
PTR-36	気管支喘息	新規作用機序(CRTh2拮抗作用)によって喘息症状をコントロールする長期管理薬。 単剤による吸入ステロイドと同等の治療効果(軽症患者)や吸入ステロイドとの併用による十分な治療効果(軽症~重症の患者)が期待される。	錠剤	導入: 英プルマジェン・セラピューティクス(アズマ)リミテッド社

【Phase I】

開発コード(一般名)	対象疾患	薬効・特徴	剤型	備考
TMG-123	2型糖尿病	新規作用機序(肝優位型GK活性化作用)による血糖コントロール薬。 血糖コントロールが不十分な患者で有効性が期待されるほか、高い利便性(1日1回投与、腎機能低下患者で用量調節の必要性低い、薬物相互作用の懸念が少ない等)が期待される。	錠剤	自社開発品
TMX-049	高尿酸血症・痛風	非プリン型キサンチンオキシダーゼ阻害薬。新規高尿酸血症治療薬として、有効性と安全性に優れることが期待される。	錠剤	自社開発品

◆ 導入品目の状況 (直近3年間を記載)

導入契約	導入元	内 容
2014年5月	シグマタウ社(英)	ADA欠損症治療薬EZN-2279の日本における独占的開発・販売契約を締結 (臨床準備段階)
2015年3月	大正製薬(株)	変形性関節症の鎮痛・消炎を適応症とした、エスフルルビプロフェン含有消炎鎮痛貼付剤TT-063の国内における販売権許諾契約を締結 (2015年9月：大正製薬(株)が製造販売承認を取得)

TEIJIN

Human Chemistry, Human Solutions

Human Chemistry, Human Solutions

テイジンブランドの約束を“Human Chemistry, Human Solutions”と表現します。

この約束は、「人と地球環境に配慮した化学技術の向上と、社会と顧客が期待している解決策を提供することで本当の価値を実現することに挑戦し続けること」を意味しています。

私たちはこの約束を確実に成し遂げ、企業理念であるQuality of Lifeの向上に努め、社会と顧客から信頼される企業グループであり続けます。